

## 平成29年度 第11回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成30年2月15日(木) 午後1時30分～午後4時36分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一  
職務代理者 三橋明美  
委員 熊田裕子  
委員 石嶋和夫  
教育長 池澤 勤
- 4 出席職員 教育次長 坪山 仁  
教育総務課長 小谷野 雅美  
学校教育課長 海老原 忠  
生涯学習文化課長 近藤 善昭  
文化財課長 山口 耕一  
スポーツ振興課長 北條 均  
学校教育課課長補佐 田澤 孝一  
学校教育課指導主事 岡本 直美  
教育総務課課長補佐 伊澤 仁一  
教育総務課主幹 古橋 栄一  
教育総務課副主幹 荻原 孝裕
- 5 傍聴人 なし
- 6 議 案  
議案第49号 平成30年度下野市外国語指導助手採用候補者の承認及び委嘱について  
議案第50号 平成30年度下野市社会教育指導員採用候補者の承認及び委嘱について  
議案第51号 平成30年度下野市資料館嘱託員採用候補者の承認及び委嘱について
- 7 協議事項  
(1) 下野市小中一貫教育統括コーディネーター設置規則(案)について  
(2) 下野市立小中学校教科用図書選定委員会条例施行規則の一部改正について  
(3) 平成30年度下野市学校教育計画(案)について  
(4) 下野市地域学校協働活動推進員設置規則(案)について  
(5) 下野市公民館振興計画の策定について(答申)
- 8 報告事項  
(1) 教育委員会後援等の承認について  
(2) 寄附の受け入れについて  
(3) 平成29年度全国学力・学習状況調査の分析結果について

(4) 第2回カンピくんカップキンボールスポーツ大会の結果報告について

9 その他

(1) 平成30年度下野市教育委員会主要日程について

(2) 平成30年度第1回教職員全体研修会（教育行政説明会）の開催について

(3) 下野市教職員退職辞令交付式・着任式の開催について

<p>永山委員長</p>	<p>委員長挨拶 議事録署名委員の指名 熊田委員及び石嶋委員 第10回教育委員会定例会議について、議事録の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求める。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし) 議事録はこのとおり承認とする。 次に、教育長の報告を求める。</p>
<p>池澤教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月22日に風土記の丘資料館及び薬師寺歴史館の嘱託員採用試験を実施し、5名の応募者より4名を採用候補者とした。</li> <li>・ 1月23日、前日の雪の影響を受け、国分寺中学校区及び南河内中学校区においては登校を2時間遅れで対応した。石橋中学校区及び南河内第二中学校区は、通常通りとした。</li> <li>・ 1月24日に逮捕された市職員の不祥事について経緯報告を行う。</li> <li>・ 1月27日に国分寺公民館において教育のつどいを開催した。教育委員会表彰の授与式に続き、口笛奏者の青柳氏とピアニストの追川氏による記念コンサートを実施したが好評であった。</li> <li>・ 1月28日に第59回郡市町対抗駅伝競走大会が開催され、下野市は、29位であった。(去年は28位)</li> <li>・ 2月3日に国分寺公民館まつりが開催され、2月末まで各地区公民館でも順次開催される。</li> <li>・ 2月5日から9日に人事評価に基づく市内小中学校の校長及び教頭面談を実施した。</li> <li>・ 2月10日に下野市防災訓練がゆうゆう館にて実施された。同日、午後「グリム絵画展・童話賞」の贈呈式が開催された。</li> <li>・ 2月11日に第2回カンピくんカップ小学生キンボール大会が開催された。同日、東京汐留で Pepper 全国プログラミング大会が開催され、南河内第二中学校が銀賞を受賞した。</li> </ul>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし) 議事に入る旨を伝える。 議案第49号から議案第51号については、個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。 (全委員異議なし) それでは非公開で行うことに決定する。 議案第49号「平成30年度下野市外国語指導助手採用候補者の承認及び委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ここで、会議の非公開を解く。</p>

<p>永山委員長</p>	<p>それでは、議案第49号は原案どおり決定する。          続いて、議案第50号「平成30年度下野市社会教育指導員採用候補者の承認及び委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開</p> <p>ここで、会議の非公開を解く。          議案第50号は原案どおり決定する。          続いて、議案第51号「平成30年度下野市資料館嘱託員採用候補者の承認及び委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ここで、会議の非公開を解く。          それでは、議案第51号は原案どおり決定する。          次に、協議事項に移ることを告げる。          (1) 下野市小中一貫教育統括コーディネーター設置規則(案)について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p><b>【説明要旨】</b>          前回の教育委員会で協議をいただいた、当該設置規則の修正箇所について説明を行う。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし)          続いて、(2) 下野市小中学校教科用図書選定委員会条例施行規則の一部改正について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p><b>【説明要旨】</b>          新教育委員会制度への移行に伴い、下野市小中学校教科用図書選定委員会条例の一部改正が必要となったため、市議会に上程させていただく予定である。それに伴い、当該条例施行規則も改正が必要となることから、今回、議案として上程する前にご協議いただくものである。          以下、新旧対照表に基づき条例及び施行規則の改正理由や内容等について説明を行う。</p>
<p>永山委員長          石嶋委員</p>	<p>質疑等はあるか。          これまで選定委員会の委員として選出していた教育委員は、今回の改正で出なくてもよいという理解でよろしいか。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>諮問する立場の教育長や教育委員を規則の中から削除するわけであるが、学識を有する者に含まれてくると考えている。</p>
<p>永山委員長          海老原学校教育課長          石嶋委員</p>	<p>選定委員会の委員として想定されているということによろしいか。          ご指摘の通りである。          教育委員という肩書で学識を有する者となった場合、諮問する側とされる側で問題は生じないのか。</p>

永山委員長	従前の規則には「教育委員から1人を選出する」と明記されていたので、諮問する側が委員になっても形の上では齟齬は生じていなかったが、改正案では、この部分が削除されてしまうので、諮問する側が委員となることに対して辻褃が合わなくなるのではないかと。
熊田委員	学識を有する者については、公募を行う意味なのかと思ったがそうではないのか。
永山委員	規則の中には公募委員の規定は入っていないようだ。 今回は、規則として明記されていないが、事務局としては教育委員も選定委員として想定しているという理解でよろしいか。
海老原学校教育課長	ご指摘のとおりである。
永山委員長	そうすると、選出規定から「教育委員」を削除してしまうと、石嶋委員が指摘したとおり、諮問する側とされる側の問題は出てくると思う。
池澤教育長	条例の改正により委員構成は変更するが、規則における「教育委員から一人を選出する」という部分は削除する必要はないのではないかと。
永山委員長	条例改正では、現行の「教育長」を削除し、学識を有する者1名を2名とするものであり、一方の施行規則ではこの2名の選出方法を定めるものになるはずである。したがって、規則第2条の部分は、本来条例改正と直接関連していないことになると思う。選定委員として教育委員を想定しているのであれば、現行のまま残しておいた方がよいのではないかと。
池澤教育長	ご指摘の部分は、やはり教育委員から1名を選出すると位置付け、学識を有する者について規定するのが順当であると思う。その辺のところは、近隣自治体の状況や文書法制の担当とも詰めていただきたい。 公募委員について申し上げますと、選定委員会委員長を4年間務めさせていただいた経験から、教科用図書選定委員の公募というものはすぐわれないと思う。例えば、歴史的に思想信条をもった団体の方が公募委員として応募してきた場合、明確な線引きは困難であるし、そのような方が委員となった場合、果たして公正な選定ができるのか疑問である。
熊田委員	そういった点からも、学識を有する者についての規定は必要であると思う。
石嶋委員	「PTA連絡協議会から3人を選出」とあるが、内訳として小学校の採択の場合は小学校から2名、中学校から1名、中学校の採択の場合は中学校から2名、小学校から1名といった振り分けはしているのか。
海老原学校教育課長	PTA連絡協議会に推薦の依頼をし、各地区から1名選出していただいているが、小中学校の教科用図書選定に応じた振り分けはしていない。
永山委員長	いろいろな切り口からの平等性を考えてのことだと思う。3町で合併したため、地区的な問題もあり3人となっているのだと思う。
永山委員長	他に質疑等はあるか。(特になし) ここで議論したことを反映させ、現行の趣旨を残しながら文言を整理した上で、再度教育委員会にかけていただきたい。
永山委員長	続いて、(3)平成30年度下野市学校教育計画(案)について説明を求める。

海老原学校教育課長	<p>次年度に向けて「平成30年度下野市学校教育計画(案)」を作成したので報告を行うものである。昨年からの変更点や内容等の詳細については、田澤学校教育課長補佐から説明させていただく。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>「平成30年度下野市学校教育計画(案)」に基づき、下野市学校教育目標や基本方針、基本方針ごとの努力目標及び具体策について、重点事項を中心に内容の詳細説明を行う。</p>
永山委員長	<p>これまで基本方針は10項目で構成していたが、「家庭と地域の教育力を向上させる取組」と「小中一貫教育の推進」を合わせ、『学び』と『育ち』をつなぐ小中一貫教育の推進」を新たに設定し9項目に変更した。また、それぞれの項目ごとに努力目標や努力点の見直しも行ったため、変更点は朱書きで表示させていただいた。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>8Pの(1) 道德教育の充実に「『子どもたちにどのような心を育てるのか』明確にし」という記載があるが、先生が心の育成に目標を立て、それに向けて一方的に教えていくような印象を与えかねないと思う。「道德的価値の自覚」は自分で発見するものだと思うので、子どもの価値観や良心といったものを型にはめ込んでしまうような表現は避けていただきたい。</p> <p>また、12P(2) 全教育活動を通じた人権教育の推進のところ、「『育てたい資質・能力』」とあるが、これはどのようなことを意図しているのか漠然としている。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>これらについて、何か具体的に想定しているものはあるのか。</p> <p>8Pについては、教師には「めあて」をもって授業に臨んでいただき、与える課題で何を感じ、道徳心や優しさをどのように身につけさせるのかを、明確にするためにこのような表現とさせていただいた。同様に、12Pについても、各学校において、先生方が指導にあたる時にどんな資質や能力を育てたいのかを意識しながら授業を行ってほしいと考え、このような表現となっている。</p>
石嶋委員	<p>今回のご指摘を踏まえ、抽象的な表現は避け、誤解が生じないように検討していきたい。</p> <p>8Pの(1) 道德教育の充実にについて、努力目標②に「道德教育の要としての、道徳科および道徳の時間の充実を図る。」とあるが、この表現だけ見ると、学校生活全体における道徳なのか、授業における道徳なのか分かりづらいと思う。努力点イに「本時のねらい」という表記があるので、授業の充実ではないかと推測はできるが、「要として」と書く以上「授業」という言葉を入れた方が分かりやすいと思う。</p> <p>16P(2) 一貫した指導のための体制整備については、「各中学校区において共通理解を図る。」とあるが、何の共通理解を図るのが明記されていないので、目的語を入れた方が良いと思う。</p> <p>6P(2) 地域とともにある学校経営の推進については、「学校運営協議</p>

田澤学校教育課課長補佐 池澤教育長	<p>会の協議に基づいた教育活動の推進に努める。」とあるが、「協議に基づいた」の部分が軽い表現となっているので、努力目標につながるように表現を変えた方が良いと思う。</p> <p>それぞれご指摘いただいた部分は、表現の修正を含め検討していきたい。</p> <p>16P(5) ふるさと学習の推進について、『下野市ふるさとかるた』や『下野市の伝説』等の活用を図るとあるが、今後、推進していく内容としては少し古いのではないか。例えば、薬師寺跡のVR(バーチャルリアリティ)を体験するため、実際に現地に足を運んだり、風土記の丘資料館へ行って国の重要文化財に指定された機織形埴輪を見るような機会を設けるなど、新たな視点が必要だと思う。郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育むためには、実際に現地に出向き下野市の文化に触れ、学び、それを発信していくことが必要となってくる。これを小中一貫教育の目玉として9年間の中で行っていくことも可能であると考えている。</p>
永山委員長	<p>評価項目の中に「市文化財課や関係機関、地域の人々と連携し、」とあるが、山口文化財課長から今後の取組や子どもたちに期待すること等があれば提案いただきたい。</p>
山口文化財課長	<p>まず、本市の文化的優位性というものを、子どもたちに認識してもらうことが重要であると考えている。世の中には、意識しないと身近すぎて気付かないものが多くあり、文化財等もその一つだと思う。下野市がこんなにも文化財に恵まれている理由は、昔から津波の心配がなく火山の影響も少ないという安全安心な土地柄であったことの証明となっている。今後、文化財そのものを見ながら、ふるさとの特色を読み解けるような展示方法や仕組みづくりについて整備を進めていきたいと考えている。</p>
永山委員長	<p>先ほどVRの話があったが、子どもたちに現地に来てもらい、自分の目で見て触れていただくことが一番である。世界の中には展示物に触れられる博物館が増えてきている。例えば、展示している土器に触れてもらいながら、学校給食で使用している食器と比較してもらい、その大きさに大差がないことを確認しながら、なぜ大きさが変わらないのかを考えてもらう。そこから、時代が変わろうと人の手の大きさは変わらないということ、実感してもらいたいと考えている。</p>
山口文化財課長	<p>以前、教育委員会で発掘調査現場を視察したことがあったが、その遺構は埋め戻されてしまったと思う。埋め戻される前に、小中学生が見学できるような機会を設けることはできるのか。</p>
永山委員長	<p>今後、仁良川でも発掘調査を行う予定であるが、20人～30人程度であれば受け入れは可能である。</p>
熊田委員	<p>ぜひ、文化財課の方からも提案していただければと思う。</p> <p>他に質疑等はあるか。</p> <p>11P(1) 通常の学級における特別支援教育の評価項目において、「合理的配慮の提供について共通理解し、」とあるが、この「合理的」の意味は、障がいを持っている子どもの特性を理解するということでよろしいか。</p>

池澤教育長	「合理的配慮」については、「障害者差別解消法」の中で示された用語であり、障がいの有無に関係なく、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会を実現しようとするものである。理解することに重点を置き、教職員で共通の認識を持ちながら、障がいを持っている子どもに対し適切な指導に当たることを示している。
永山委員長	それでは、「合理的配慮の共通理解を図り、」とした方が分かりやすいのではないかと思う。
田澤学校教育課課長補佐	ご指摘の部分についても修正を検討したい。
三橋委員	3 P 冒頭に「小中一貫の日を設け」とあるが、具体的に想定しているものがあればお示しいただきたい。
田澤学校教育課課長補佐	「小中一貫の日」というものを、各学校で年間行事予定の中に位置づけ、2カ月に1回程度設けたいと考えている。中学校区ごとに小中学校の先生方が集まり、取組や実践した内容について協議をしたり、改善点について話し合ったりするなど情報の共有を行い、それを自分の学校に戻ってから実践に移すということを想定している。これまでは夏休みの期間に1度行われていたが、次年度からはしっかりと時間をとって、情報共有の機会を作っていきたいと考えている。
池澤教育長	小中学校の先生方が一堂に集まって、情報交換し合ったり、今後について話し合ったりすることが小中一貫教育を進めていくためには非常に大切になってくる。
永山委員長	日を設定し「小中一貫」に特化して進めていくことは、先生方にとっても非常に有意義であると思う。
石嶋委員	文章を細かく見ていくと、表現が不統一であるところが見られる。「及び」と「および」や「基に」と「もとに」等、他にも混在している部分があると思うので、再度確認をしていただきたい。
永山委員長	15 P (4) 学校・家庭・地域が一体となった指導において、「積極的な情報発信に努める」とあるが、学校からの発信だけでは家庭における問題の部分は見えてこないと思うので、ここは一方通行の「発信」という表現ではなく「相互の情報交換」とし、学校と家庭に特化した方が上手くいくのではないかと思う。
池澤教育長	委員長ご指摘のとおり、ここは、連絡帳等を活用しながら相互交流に努めるなどの表現にした方が適切かもしれない。
熊田委員	「学校間や関係機関との連携の強化」では、スクールカウンセラー等の有効活用についての記載があるが、これについても学校だけではなく、保護者と情報交換ができるような体制にできれば良いと思う。
永山委員長	他に質疑等はあるか。(特になし)
永山委員長	ここで暫時休憩とし、午後3時45分より開始する。
永山委員長	続いて、(4) 下野市地域学校協働活動推進員設置規則(案)について説明を求める。
近藤生涯学習文化課長	<b>【説明要旨】</b>



<p>永山委員長</p> <p>近藤生涯学習文化課長</p>	<p>前回の教育委員会で協議をいただいた、当該設置規則の修正箇所について説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（５）下野市公民館振興計画の策定について説明を求める。</p> <p>なお、本件に関しては、本日、教育長室にて社会教育委員長の五月女洪氏より当該計画の策定について答申をいただいたのでご報告させていただきます。</p>
<p>永山委員長</p> <p>池澤教育長</p>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>生涯学習推進計画（第二次）では、「生涯学習による文化づくり～学びで創る豊かなしもつけ～」をめざし、学習機会の提供、多様な学習を通じた自己実現、学習仲間との交流による心豊かな生活等、協働のまちづくりを推進していくこととなっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、生涯学習活動の中核的拠点となる公民館の機能のより一層の充実と活性化を図るため、公民館振興計画を策定するものである。</p> <p>以下、下野市公民館振興計画（案）構成や内容についての説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>他市町と比べて下野市の公民館活動はどのような状況なのか。</p> <p>自主サークル数を持続していくことは今後ますます困難になってくると思うが、各公民館において実施している講座等は活発に行われている。これは、情報誌「エール」を全戸配布していることに依るところが大きいと考えている。活動状況は他市町と比べても遜色はなく、先進的な方であると思う。</p>
<p>永山委員長</p> <p>小谷野教育総務課長</p>	<p>幅広い年齢層の拠点となるよう、更なる活動を期待したい。</p> <p>他に質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>次に、報告事項に移ることを告げる。</p> <p>（１）教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、２月現在で２件の承認をした旨の報告を行う。２件とも後援であり、前者は新規の団体である。</p> <p>以下、承認をした行事内容等について説明を行う。</p>
<p>永山委員長</p> <p>小谷野教育総務課長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（２）寄附の受け入れについて説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>下野市美術家協会より教育事業（小中学校の美術教育）への使途を希望する寄付についての報告を行う。</p>
<p>永山委員長</p> <p>海老原学校教育課長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（３）平成２９年度全国学力・学習状況調査の分析結果について説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>平成２９年度全国学力・学習状況調査の結果速報については、既に９月の教育委員会において報告を行ったが、今回、詳細な分析結果がまとまったの</p>

<p>岡本学校教育課指導主事</p>	<p>でご報告させていただく。内容の詳細については、岡本指導主事より説明をお願いする。</p>
<p>永山委員長 石嶋委員</p>	<p>「平成29年度全国学力・学習状況調査分析結果」の冊子に基づき、下野市全体の傾向、国語、算数・数学の分析結果と課題、学習状況調査（児童・生徒質問紙）の分析結果と課題、学校質問紙の分析結果について詳細な説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>P15の質問番号71、80「国語（算数）の授業の内容はよく分かりますか」において、市内小学生は全国平均を上回っているが、この数字を信じて本市の児童は分かっていると判断するのは早計であると思う。ここは何かわかったか書かせる質問でないと判断できない。目の前の子どもを見て先生方が本来の仕事をしっかりとして行っていかなくてはならないと思う。</p>
<p>熊田委員</p>	<p>P16の質問番号33、35「学校に行くのは楽しいと思いますか」及び37、39「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」等は、小中いずれも全国平均を上回っており、子どもたちの率直な感想としてすばらしいことだと思うので、もっとPRしていただきたい。</p> <p>P7の質問番号84、86「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という部分は、誰もが直面する課題だけに、その数字をどう捉えるかが難しいと思う。ここは、数字が低いことを劣っていると見るべきではなく、子どもたちは客観的な判断が早めにできていると捉えるべきではないかと思う。</p> <p>P17の質問番号6「自分には、よいところがあると思いますか」では、小学校で全国平均を下回っているが、早熟な子どもであれば、自分に厳しく評価する傾向が出やすくなると思う。逆に、中学校では全国平均を上回っているところを見ると、早い段階で自己を客観視していることがわかり、これは決して悪い傾向ではないと思う。</p> <p>質問番号7「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」の部分は、全国平均を下回っているものの、私たち大人でも人前で話すことは苦手だと思うので、これは訓練次第で克服できると考えている。それよりも、質問番号8「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の部分で、全国平均を上回っていることが重要であり、人の話が聞けるならば、成長とともに意見を述べることは出来るようになると考えている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>例えば数学が苦手な子どもに対し、数学を学ぶ意味を伝えずに、切り捨ててしまえば、その子の可能性を狭めてしまうことになってしまう。微分積分が難しいからといって切り捨てていては、今頃飛行機は飛んでいないことになる。今後も、我々大人は、学習の意義について語っていかなければならない。</p> <p>他に質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（4）第2回カンピくんカップキンボールスポーツ大会の結果報</p>

北條スポーツ振興課長	<p>告について説明を求める</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>平成30年2月11日（日）に石橋体育センターにて開催された第2回カ ンピくんカップキンボール大会結果の一覧表に基づき報告を行う。</p> <p>全小学校からの187名、34チームの参加があり、昨年よりも増加して いる。これは、スポーツ推進員による出前教室の成果であり、技術面も向上 している状況である。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>次に、その他に移ることを告げる。</p> <p>（1）平成30年度下野市教育委員会主要日程について説明を求める。</p>
古橋教育総務課主幹	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>「平成30年度教育委員会主要日程」の一覧表に基づき、現段階での教育 委員会の年間スケジュールについて説明を行う。日程が決まっていない行事 については、決まり次第ご連絡させていただく。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（2）平成30年度第1回教職員全体研修会（教育行政説明会）の 開催について説明を求める</p>
田澤学校教育課課長補佐	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>当該研修会を4月6日（金）13時30分から本庁舎2階会議室におい て開催する旨の説明を行う。新年度初めての行政と教職員の顔合わせとなる ので、委員の皆様のお席をお願いする。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて、（3）下野市教職員退職辞令交付式・着任式の開催について説明を 求める。</p>
田澤学校教育課課長補佐	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>下野市教職員退職辞令交付式を3月30日（金）10時より本庁舎3階会 議室にて、着任式を4月2日（月）10時50分よりグリムの館にて開催す る旨の説明を行う。委員の皆様のお席をお願いする。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>次回の第2回教育委員会臨時会は、2月28日（水）午後5時の予定とす る。</p> <p>本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時36分閉会。</p>